

国道45号 天王橋から合戦谷まで

南三陸の大動脈を北上すれば、北上川の滔々たる流れが常に寄り添う



【船渡】旧北上川に架かる天王橋付近には仙台藩の御塩蔵場があり、高瀬舟やひらた舟が川を行き交いとても賑わっていたという。



「旧北上川」「北上川」を貫くように走る南三陸の大動脈国道45号。生活に欠くことのできない道路として、多くの人々が日々利用している国道45号の沿道には、隠れた見どころや観光スポットがたくさんあります。日常の喧噪をしばし忘れ、ふるさとの魅力を再発見する小旅行へ出かけてみませんか？



【河北インターチェンジ】南三陸を高速で結ぶ三陸縦貫自動車道の河北インターチェンジ。国道45号が並行しているため、アクセスもよい。



【天王橋と新天王橋】国道45号「天王橋」と三陸縦貫自動車道「新天王橋」が仲良く並んで、三陸沿岸の大動脈としての役割を果たしている。



国道45号は、総延長510.7km。起点の宮城県仙台市勾当台公園前から終点の青森県青森市青い森公園前まで、三陸沿岸の主要都市を結んでいます。

石巻市鹿又の旧北上川に架かる天王橋を渡り、右手に梨ノ木水門を見ながら道の駅「上品の郷」でちょっと一休みした後、国道45号を北上すると、ほどなく右手に追波川河川運動公園が見えてきます。追波川河川敷の敷地内にはさまざまなスポーツ施設が完備され、学生からお年寄りまで幅広いスポーツファンが爽快感を流しています。



【梨ノ木水門】旧北上川から追波川への逆流を防ぐために設置された水門で、昭和30年に完成。築造年代やその機能から見て貴重な歴史的土木構造物として高く評価されている。



【道の駅上品の郷】南三陸観光の拠点としてすっかり定着した、道の駅上品の郷。

【追波川河川運動公園】追波川の河川敷およそ13haにサッカー場や野球場、テニスコートなどが完備された本格的な運動公園。また、野鳥観察広場やアスレチック施設もあるので、家族連れでも楽しめる。



再び国道45号に戻り、北上川に架かる飯野川橋を渡り終えた橋のたもとに見えてくるのが、河北総合センタービッグバンで、ちょうどその裏手には総ガラス張りのモダンな建物のメディアシップがあります。メディアシップではI T (情報技術) に適応できる市民社会をめざし、コンピュータの使い方から活用方法の研修、インターネット接続サービスなどを行っています。取材で訪れたとき、桃生地区の子供たちがパソコンを使った研修会でTシャツづくりに挑戦していました。

飯野川の町中を通過すると、北上大堰が眼前に迫ってきます。その手前、北上大堰



【石巻市情報プラザ・メディアシップ】河北総合センター・ビッグバンと併設されているメディアシップは、情報化社会に対応できる市民の育成や支援を行う施設で、インターネット接続できる施設やPCなどが完備されている。市民向けの研修会や勉強会なども定期的に行われている。

【芭蕉公園】北上大堰の下流側直下の左岸にある。ここより少し上流に遡ったところにあった長沼(合戦谷沼)のことが松尾芭蕉の「おくのほそ道」に記述されているという。



【北上大堰】昭和7年に完成した飯野川可動堰に代わる施設として、昭和49年に完成。全長335.4mの日本でも有数の大きさを誇る堰である。



の全景を見渡することができる絶好の位置にあるのが芭蕉公園で、ここには北上大堰ができる以前にあった飯野川可動堰のゲートや「おくのほそ道」にも記されているという長沼(合戦谷)のことが詳しく解説されています。

ここから先は、北上川と並走しながら桃生地区へと向かう一本道。大河と寄り添うように走るその光景は、中国の山水画を彷彿とさせるような雄大さで通過する人を圧倒します。



【遠藤日人(えんどうあつじん)句碑】宝暦8(1758)年、石巻市桃生町寺崎に生まれ、江戸で学問を学んだ後、仙台藩の大藩士として拔擢され、晩年には芭蕉研究書「蕉門諸生全傳」を出版。自らも二千あまりの俳句を詠んでいる。

	開催日	イベント名	会 場	主 催	問い合わせ
9 10	28日(日)～10月11日(土)	サン・ファン展帆ボランティア養成講習会	サン・ファン館	サン・ファン館	☎ 0225-24-2210
	5日(日)	おながわ秋刀魚収穫祭2008	女川魚市場敷地内	おながわ秋刀魚収穫祭2008実行委員会(女川魚市場買受人協同組合)	☎ 0225-53-4455
	5日(日)、12日(日)	金華山黄金山神社 神鹿角切り行事祭	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社	☎ 0225-45-2301
	11日(土)～12日(日)	おながわDC「ホタテ祭」	マリナバル女川シーパルⅡ	マリナバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	18日(土)～11月9日(日)	硯のふるさと東北書画展	雄勝硯伝統産業会館	雄勝硯伝統産業会館	☎ 0225-57-3211
	26日(日)～11月1日(土)【予定】	フェスティバル・イン・かほく	河北総合センター 他	河北総合支所総務企画課	☎ 0225-62-4821
	26日(日)	股旅演芸東北大会	桃生総合センター	河南桃生商工会	☎ 0225-76-3315
11	8日(土)～ 9日(日)	おながわDC「カキ祭」	マリナバル女川シーパルⅡ	マリナバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	29日(土)～30日(日)	和渕市市	和渕神社前商店街	河南桃生商工会	☎ 0225-72-3586
12	6日(土)～ 7日(日)	にっこり写真セミナー	北上地区	北上総合支所産業建設課	☎ 0225-67-2114
	20日(土)～30日(火)	おながわDC「年末大感謝祭」	マリナバル女川シーパルⅡ	マリナバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	27日(土)	女川町水産まつり	女川魚市場	女川町水産まつり実行委員会(女川町水産農林課)	☎ 0225-54-3131

県道網地島線 長渡から網地まで

遠くに聞こえるかすかな潮騒に耳を傾けながら、
自然とのふれ合いを満喫できる島の一本道。



【網地島】牡鹿半島の南西に位置し、周囲18kmほどの有人島で、石巻港と鮎川港から出る定期船で結ばれている。

一般県道214号網地島線は、
網地港と長渡港を結ぶ延長およそ5kmの一本道。
石巻市の石巻港から出航している定期船に乗って、
田代島を経由して網地島の長渡港に上陸し、
徒歩で起点の網地港をめざしてみました。



【長渡↑】網地島には、北側の網地集落と南側の長渡集落があり、長渡港からは対岸の鮎川をはじめ金華山などを望むことができる。

【湊波岐崎→】島の南東端に位置する湊波岐崎は、「ドフメキ」「ドンミキ」「ドミギ」など様々な呼び名で地元の人々から呼ばれている。岬には灯台があり、太平洋の大海原を照らしている。

【ペーリング像→】1739年、ペーリング海峡の語源となったデンマーク人の探検家V.J.ペーリングが派遣したロシア帝国の第2次北太平洋大探検隊が来航し、網地島付近の測量を行った。その際、ロシア人と島民が食料の交換など、親交を深めたという。網地島の白浜海水浴場には、この歴史的出来事を記念して、ペーリングの銅像が建立されている。



【路傍のお地藏様↓】湊波岐崎からの道と網地島線の合流点の傍らに、お地藏様が鎮座している。このあたりから、室町時代の経筒が出土されたという。

【網地白浜海水浴場】青く澄んだ遠浅の海と白い砂浜沿いに植えられたシュロの木の並木。網地港内に面した網地白浜海水浴場は、南国の海辺を思わせる穏やかな海水浴場だ。



長渡を出発し、網地へと向かう前に、県道網地島線から逸れて湊波岐崎へ歩を進めてみます。人家を抜け細い道を進んでほどなく、突如、視界が開けて紅白に塗り分けられた灯台と太平洋の大海原が目飛び込んできます。垂直に切り立つ断崖に打ち寄せる白波のダイナミックな風景を、しばし楽しみ、のどかな漁村の集落を眺めながら路地を行くと、再び県道網地島線に合流します。

島を南北に貫く、県道網地島線を歩きながら島の内陸部へとやってくると、海の気配はなくなります。あたかも、奥深い山の中を歩いているかのような鬱蒼とした森が広がるばかり。人家も網地と長渡の港周辺に集中しているためか、見かけることはほとんどありません。

島のほぼ中央付近には、網長小学校と網長中学校がありました。現在は、網長小学校



【網小医院】網長小学校が休校となり、その後は、病院及び高齢者福祉センターとして活用されている。校庭には校木の老松や遊具、二宮金次郎像などが残っており、現役だった頃の学校の姿を今に伝えている。



は島の医療及び老人福祉の拠点として、また網長中学校は「島の楽校」として再活用されています。過疎と少子化によって、地域の学校の閉校が相次いでいる昨今、網地島にもそうした時代の波が確実に押し寄せてきているのだと、しばし物憂い気分になりながら、網地をめざして歩を進めます。一本道だった県道網地島線は、やがて二股に別れ、さらに、大きくカーブした下り坂を抜けて、網地白浜海水浴場へと到着。

網地地区は、港周辺にわずかに平地があるだけで、多くの人々は傾斜地に暮らしていま



【島の楽校】平成12年に閉校した網長中学校は「島の楽校」として生まれ変わり、合宿又は野外活動の場として、近隣の小中学校から児童・生徒を受け入れている。

す。そうした人家と港を結ぶ急な階段を上って海に目をやると、そこからは、皿をひっくり返したような田代島がすぐ近くに見えます。

ほどなくして、汽笛を鳴らしながら定期船が港に滑り込んできました。それまで静かだった網地港には、どこからともなく集まってきた島の人たちの賑やかな話し声が響き渡ります。そして、スクリューの波跡を残し定期船が港を出ていくと、何事もなかったかのように、元の静かな島の光景に戻っていました。

【常春寺】1513年に開山したとされる古刹。明治時代には、本堂が網地小学校の教場にも使われたという。



【潮音堂】潮音堂は、鎌倉時代作と伝えられる木造聖観音立像(宮城県指定文化財)が安置されている。このお堂がある立ヶ崎から眺める海は絶景である。

◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会場	主催	問い合わせ
1	1日(木)～2日(金)	石ノ森萬画館・正月イベント	石ノ森萬画館	石ノ森萬画館	☎ 0225-96-5055
	10日(土)～11日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ「たら祭り」	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	24日(土)	おめつき	雄勝名振地区	雄勝公民館	☎ 0225-57-3052
	25日(日)	女川のまつり 冬のまつり	マリンバル女川お祭り広場	女川のまつり実行委員会(女川町商工観光課)	☎ 0225-53-4033
	25日(日)～2月23日(月)	「慶長使節船写真コンクール」作品展	サン・ファン館	サン・ファン館	☎ 0225-24-2210
2	14日(土)～15日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ「あんこう祭り」	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
3	14日(土)～15日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ「かに祭り」	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	15日(日)	サン・ファン感謝デー「渡波の加工品まつり」	サン・ファンパーク	サン・ファン館	☎ 0225-24-2210
	下旬	和渕互市	和渕神社前商店街	河南桃生商工会	☎ 0225-72-3586

国道398号 浦宿浜から御前湾まで

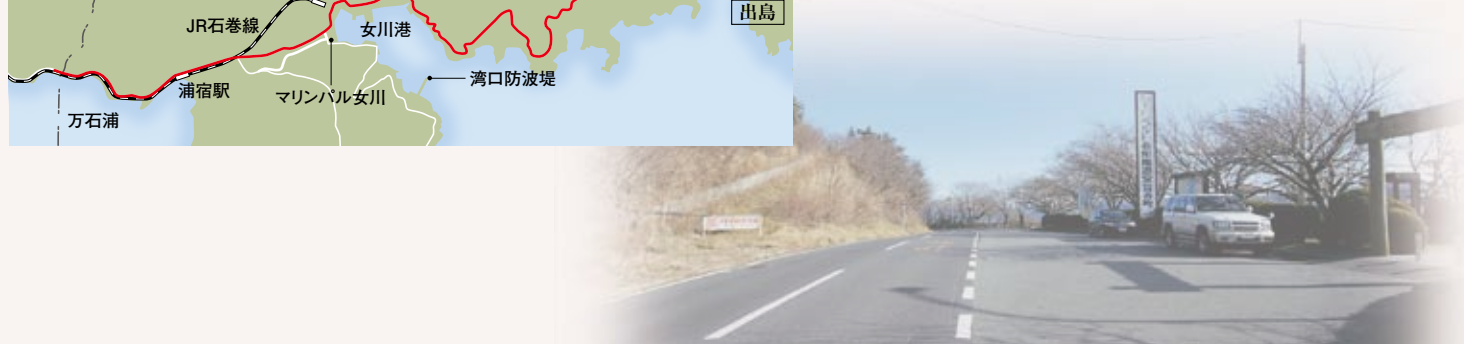
万石浦、女川湾、そして太平洋の大海原、 変化に富んだ水辺の景観が楽しめる眺海の道。



【JR石巻線】美里町「小牛田駅」と女川町「女川駅」を結ぶおよそ45kmの単線で、女川～石巻間では万石浦沿いに走るため、車窓から美しい万石浦の景色が堪能できる。



女川湾の北岸をトレースするように
ワインディングロードが続くリアスブルーライン。
軽快にハンドルを切りながら海の方へ目をやると、
青い空と紺碧の海が水平線の彼方でとけ合い、
無限の時空を旅しているような錯覚に陥ります。



【万石浦】仙台藩の二代藩主伊達忠宗公が、干拓すれば一万石の米が穫れると言ったことから万石浦と呼ばれるようになったという。かつては製塩業が栄えたが、今はカキやノリの養殖が盛んに行われている。



【女川港】リアス式海岸のため、天然の良港が多数点在する女川町。女川港は、女川湾の最も奥に位置し、豊かな漁場でとれる新鮮な魚介類の水揚げ港として繁栄した。



【女川】平安時代、安倍貞任と源氏方が稲井の館（現在の石巻市稲井）で戦った際、一族の婦女子を安野平（女川の源流付近）に避難させた。以来、ここから流れ落ちる小川を女川と呼ぶようになったという。



【御殿崎】国道398号が開通するはるか以前から徒歩で御殿崎を越え、女川と尾浦および御前浜を結んでいた生活道。昭和44年8月まで地元の人々が利用していたという。

お客さんがやってきて、あっという間に長蛇の列が。一方、施設内の海産物直売所では、安値で販売される魚介類を買い求める人でごった返していました。

マリンパル女川を後にして、女川港の北側を国道に沿って町中を走っていると、一本の小川にかかる橋を渡ります。一見、何の変哲もない小さな川ですが、その名を「女川」といい、はるか平安の時代に命名され、以来この地の名にもなったという由緒ある川と言います。そのような感慨に浸りながら、しばし川沿いを散策した後、再び国道を行くと、道は入り組んだりリアス式海岸線をトレースするように蛇行を繰り返しながら、北上を続けます。途中、桐ヶ崎、竹浦、尾浦、御前浜、指ヶ浜の漁業集落を通過すると、やがて、隣町である石巻市雄勝の町境に到達します。町境付近から

の見晴らしは絶景で、対岸の雄勝半島白銀崎と出島、そしてその先には、太平洋の大海原が広がっていました。

どこまでも青く澄み渡った冬晴れの午後。かすかに香る潮風を胸いっぱい吸い込みながら、時を忘れて眼下に広がる南三陸の変化に富んだ海の景観を楽しみました。



【マリンパル女川】町営の観光物産拠点施設として、1994年にオープン。訪れた日は、ちょうど施設前の広場でイベントが開催されており、大勢のお客さんに焼きガキなどがふるまわれていた。



【湾口防波堤】崎山展望公園から女川湾に目をやると、湾をふさぐように南北から防波堤が伸びている。津波の被害から女川港を守るための防波堤である。



【町境】指ヶ浜を過ぎると、石巻市雄勝との町境となる。ここからは雄勝半島白銀崎を見渡すことができる。

◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会場	主催	問い合わせ
4	11日(土)～12日(日)	マリンパル女川シーバルⅡ 大創業祭(しらす祭り)	マリンパル女川シーバルⅡ	マリンパル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	12日(日)～20日(月)	日和山公園観覧期間	日和山公園	石巻市観光課	☎ 0225-95-1111
	13日(月)	北上川ヨシ原火入れ	北上川河川敷	石巻市北上総合支所産業建設課	☎ 0225-67-2114
	15日(水)	マリンパル女川周年祭	マリンパル女川	マリンパル女川	☎ 0225-54-4711
	19日(日)	鹿嶋ばやし山車祭り	広瀬地区	石巻市河南総合支所産業建設課	☎ 0225-72-2114
5	下旬	女川のまつり 春のまつり(テーマ/ギンザケ)	マリンパル女川お祭り広場	女川町商工観光課	☎ 0225-53-4033
	3日(日)～5日(火)	春のマンガタン祭り2008	石ノ森萬画館、中瀬公園	石ノ森萬画館	☎ 0225-96-5055
	3日(日)～5日(火)	南三陸潮騒まつり	神割崎イベント広場	石巻市北上総合支所産業建設課	☎ 0225-67-2114
	5日(火)～11日(月)	金華山初巳大祭	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社	☎ 0225-45-2301
	9日(土)～10日(日)	マリンパル女川シーバルⅡ ほや祭り	マリンパル女川シーバルⅡ	マリンパル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
6	18日(月)	日和山公園「野点(のだて)」	日和山公園	表千家石巻教授会石巻市観光課	☎ 0225-95-1111
	24日(日)～25日(月)	第15回「サン・ファン祭り」	サン・ファンパーク/サン・ファン館	サン・ファン館	☎ 0225-24-2210
	8日(月)	おしかホエールランド近代捕鯨開始記念イベント	おしかホエールランド	石巻市牡鹿総合支所産業建設課	☎ 0225-45-2114
	13日(土)～14日(日)	マリンパル女川シーバルⅡ ぎんざけかつお祭り	マリンパル女川シーバルⅡ	マリンパル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	27日(土)～7月1日(水)	牧山あやめ祭り ※鑑賞期間6月21日～7月6日	牧山零羊崎神社	牧山零羊崎神社	☎ 0225-22-4788

旧北上川沿いの遊歩道 北上運河「石井閘門」付近から中瀬まで

旧北上川の雄大な流れに目をやりながら、サイクリングやジョギングを楽しむ河岸の小径。



【中瀬】石巻市旧北上川の河口にぽっかりと浮かぶ中瀬は、上流側にある西内海橋（にしうつみばし）と東内海橋（ひがしうつみばし）によって、兩岸から結ばれている。かつて漁業や海運業が盛んだったころは数軒の造船所が建ち並んでいたが、今はもう少ない。2001年に石ノ森萬画館の開館以降、中瀬親水公園などが整備され、現在は多くの家族連れや若者が集う、憩いの場となっている。



旧北上川と北上運河の分岐点（石井閘門）から

石巻の市街地に位置する中瀬までの右岸側には、

およそ5kmにわたり歩行者専用の遊歩道が整備されています。

自動車を降りて、のんびりと遊歩道を歩いてみると、

滔々と流れる北上川の雄大な流れや

野鳥のさえずりに心洗われる安らかなひとときを楽しむことができます。

【石井閘門】日本最古の可動ゲートを持つレンガ造り西洋式閘門。もともとゲートは木製だったが、1966（昭和41）年に鋼製のゲートに取り替えられた。貴重な近代化遺産として2002（平成14）年、国の重要文化財に指定された。



旧北上川と北上運河との分岐点には、明治13（1880）年に完成した石井閘門があります。石井閘門は、当時の内務省土木局長だった石井省一郎氏の姓に由来し、オランダ人技師のファン・ドールンが設計した日本初の本格的な西洋式閘門と言われています。石井閘門の傍らには北上川・運河交流館があり、運河の歴史資料が展示されています。通称「水の洞窟」と呼ばれる名のとおり、北上川・運河交流館は周囲の景観を壊さぬよう河川敷の土手と一体化した構造となっており、あたかも河川敷にぽっかりと空いた洞窟のように見えます。北上川・運河交流館を後にし



【北上川・運河交流館 水の洞窟】国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所では、北上運河の水質浄化を図るため、石井閘門の脇に導水施設を設置。同施設と併設の北上川運河交流館・水の洞窟は、全国に誇る北上運河の偉業をより多くの人に伝えるため、貞山運河をはじめ国内外の運河に関する資料を展示した施設である。



【開北橋（かいほくばし）】開北橋より下流の旧北上川河川敷では、毎年8月初旬に「石巻川開き祭り・花火大会」が開催されており、孫兵衛船競漕や流燈、また、およそ1万5000発の花火で川面を彩る花火大会が行われる。



【遊歩道】旧北上側の右岸、北上川運河交流館から中瀬の西内海橋までの区間は、自転車と歩行者の専用道が整備されており（一部車道に出る箇所あり）、散歩やジョギング、サイクリングを楽しむことができる。



【住吉公園】ここは、かつて源義経が川を渡る際、船賃の代わりに片袖を引きちぎって渡したところと言い伝えられ、「袖の渡し」という歌枕の地として多くの文人・墨客が訪れるようになった。また、川に浮かぶ雄島のほとりには、石巻の地名の由来と言われている巻石がある。

【石ノ森萬画館】石巻市とゆかりのある漫画家石ノ森章太郎氏（故人）の原画3万枚を収蔵した記念館。まんがをテーマにしたイベントや企画展が定期的に開催されている。



【中瀬親水公園】石ノ森萬画館を中心に、その周囲はきれいな公園として整備され、バスケットボールのコートやトイレ、ベンチなどが設置されている。

◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会場	主催	問い合わせ
7	5日（日）	おがつ産業まつり「東部支所・海鮮市（ウニまつり）」	雄勝シーサイドふれあい広場	雄勝総合支所産業建設課	TEL 0225-57-3671
	11日（土）～ 12日（日）	マリナル女川シーパルII うに祭り	マリナル女川シーパルII	マリナル女川事業協同組合	TEL 0225-54-4714
	25日（土）～ 26日（日）予定	女川みなと祭り	女川海岸お祭り広場*	女川みなと祭り協賛会	TEL 0225-53-3310
	25日（土）～ 26日（日）	金華山龍神まつり 奉納 龍（蛇）踊り	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社	TEL 0225-45-2301
8	1日（土）～ 2日（日）	石巻川開き祭り	市内中心部、旧北上川下流	実行委員会（石巻商工会議所）	TEL 0225-22-0145
	8日（土）～ 9日（日）	マリナル女川シーパルII 夏祭り	マリナル女川シーパルII	マリナル女川事業協同組合	TEL 0225-54-4714
	9日（日）	牡鹿鯨まつり	鮎川浜、鮎川港周辺	実行委員会（石巻観光協会牡鹿事務所）	TEL 0225-45-3456
	8月中旬	2009サマーフェスタ・イン・かほく	河北総合センター	実行委員会（石巻かほく商工会）	TEL 0225-62-3161
	8月中旬	石巻マンガ灯ろう祭り	中瀬公園	実行委員会（石ノ森萬画館）	TEL 0225-96-5055
	13日（木）	にっこりタ市	にっこりサンパーク駐車場	北上総合支所産業建設課	TEL 0225-67-2114
9	23日（日）	トリコローレ音楽祭in石巻	市内中心商店街	実行委員会（街づくりまほう内）	TEL 0225-23-2109
	9月上旬	石巻地域地畜産フェスティバル	追波川河川運動公園	石巻地域総合畜産共進会実行委員会	TEL 0225-95-1438
	12日（土）	ものうふれあい祭りはねこ踊りフェスティバルinものう	桃生植立山公園	実行委員会（河南桃生商工会桃生支所）	TEL 0225-76-3315
	12日（土）～ 13日（日）	マリナル女川シーパルII さんま祭り	マリナル女川シーパルII	マリナル女川事業協同組合	TEL 0225-54-4714

※「女川町海岸駐車場」となります

県道238号「釜谷・大須・雄勝線」、雄勝から名振まで

この道の先に続くであろう、さらなる道をめざし、雄勝半島をぐるりと巡る県道238号をゆく。



【石巻市雄勝町小島付近の県道238号】雄勝の中心地を抜けて天王島のある小島に至る県道238号は、雄勝湾をトレースするように道が続く。穏やかな海と断崖の間を貫く道が、変化に富んだ景観美を醸し出す。

雄勝半島を周回する県道238号「釜谷・大須・雄勝線」は、半島に点在する漁村集落を繋ぐライフラインとして、また観光・レジャーの主要路として重要な役割を担っています。道路沿いには、古い言い伝えや神社・仏閣などが多数点在しており、自然散策や歴史探訪が好きな人にとって、格好のドライブコースと言えるでしょう。



【天王島】天王島のお祭りは10月15日に開催される。近くで船の手入れをしていた漁師さんの話によると、浜の人々が漁船で天王島に渡り、島の頂きに祀られている祠（ほこら）に豊漁を祈願するという。



雄勝のメインストリートを抜け雄勝総合支所前を過ぎると、海岸線をトレースするようにきれいに整備された道が続きます。県道238号は「釜谷・大須・雄勝線」と銘打たれていますが、釜谷方面へ自動車で行くことはできません。不便を感じていらっしゃるであろう地元の方々に申し訳なく思いつつ、興味津々でさっそく雄勝半島周遊の小旅行へ。

雄勝石ギャラリーのある明神を通り過ぎ、最初に目に飛び込んでくるのが天王島です。この小さな島は、海岸からわずか数十メートルしか離れていないのに、船でなければ渡ることができません。天王島を後にして、ほどなく行くと大浜集落が見えてきます。ここ大浜は、神亀年中(725年)に女川尾浦浜に漂着した朝鮮国の王子が晩年大浜に移り住み、胡網(こあみ)をつくり網漁を伝え村の暮らしを豊かにしたことから、村人が手厚くもてなしました。



【やすらぎの森公園】小島から大浜へと至る県道沿いに入口の看板が立っている。ここから海側へのびる歩道を行くと雄勝湾を一望できる東屋がある。



【石(いそ)の神社・葉山神社】雄勝半島のほぼ中央にそびえる石峰山(いしみねさん) [352m]の山頂にある大岩をご神体として、古くは石峰権現社と呼ばれていた。前面の葉山神社は石峰権現社の別当として祀られた薬師堂で、堂内に安置されている薬師如来像は運慶(うんけい)作と伝えられている。歴代伊達藩主が参詣したという由緒ある神社である。

その後、この地を「王の住んだ所」から王浜、そして大浜という地名になったと言い伝えられています。

半島の突端に位置する大須の少し手前の県道沿いに、石巻市立大須中学校があります。古い木造校舎は、建設当時のものを手直ししながら今も大切に使用されており、古いというよりも懐かしい温もりを感じさせてくれます。

半島をぐるりと巡り船越湾を過ぎ、いよいよ名振に到着です。海岸沿いに続く道は徐々に狭くなり、小さな集落へと続きます。車を降りて徒歩で集落内の小径を行くと、道は民家の脇を抜け深い森に吸い込まれていきます。「この先にはどんな景色があるのだろう」。

そんな興味を抱きましたが、またの機会に楽しみを残し、雄勝半島の旅を終えることにしました。

県道238号がなかった時代、陸の孤島と



【石巻市立大須中学校】大須中学校の校舎は、昭和26年雄勝町立船越中学校大須分校として開設した際、地域住民の手によって建てられた木造校舎で、手直しをしながら大切に使用されている。小高い丘にある校庭からは太平洋を遠く望むことができる絶好のロケーションとなっている。

【荒浜海水浴場】白い砂浜に青く澄んだ海が心地よい。海水浴客も比較的少ないので、プライベートビーチ気分が満喫できる。



【船越湾】追波湾に面する船越湾。山間に開けたわずかな平坦地に、肩を寄せ合うように建つ家々。そして、漁港で仕事に精を出す漁師の姿は、一幅の絵画を見ているかのように美しい。

呼ばれていた雄勝半島に点在する集落の人々は、徒歩で峠を越えるか、船でしか行き来できませんでした。こうして、いとも簡単に半島をひと巡りできるなんて、ここで暮らす人々にとって、生活に欠くことのできない大切な道であることを実感した道の旅でした。



【蛇体石(じゃたいせき)層と旭館】蛇体石層は、およそ2億5,000万年前の古生代二畳紀の緻密石灰岩層でウミユリやサンゴなどを多く含み、三葉虫の化石も発見されている。近くの経ヶ森と呼ばれる小高い丘は、かつて海防上の館(旭館)があったと考えられている。



【徒歩で往来していた頃の面影が残る尾ノ崎峠の道】県道238号は、雄勝から半島を周回し長面浦を経て新北大橋たもとの釜谷まで続く道路だが、名振から長面浦に至る尾ノ崎峠は、自動車で往来することができない。名振の小浜からは、徒歩で行き来していた頃の細い山道が残っている。

◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会場	主催	問い合わせ
10	4日(日)、11日(日)	金華山黄金山神社 神鹿角切り行事祭	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社	☎ 0225-45-2301
	10日(土)～11日(日)	石巻専修大学石鳳祭	石巻専修大学	実行委員会(石巻専修大学)	☎ 0225-22-7429
	10日(土)～11日(日)	マリンバル女川シーバルII ほたて祭り	マリンバル女川シーバルII	マリンバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	11日(日)	おがつホタテまつり	雄勝シーサイドふれあい広場	雄勝湾漁業協同組合	☎ 0225-57-2211
	18日(日)	いしのまき大漁まつり	石巻魚市場	実行委員会(水産課)	☎ 0225-95-1111
11	1日(日)	かほく産業まつり	河北総合センター 他	実行委員会(河北総合支所産業建設課)	☎ 0225-62-2114
	14日(土)～15日(日)	マリンバル女川シーバルII かき祭り	マリンバル女川シーバルII	マリンバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	23日(祝)	いしのまきかき祭り	サン・ファンパーク	石巻かきブランド化事業委員会(県漁協石巻地区支所)	☎ 0225-24-0391
	下旬	和渕互市	和渕神社前商店街	河南桃生商会	☎ 0225-72-3586
12	上旬～1月上旬	石巻駅前イルミネーション	JR石巻駅前	実行委員会(石巻商工会議所)	☎ 0225-22-0145
	20日(日)	サン・ファン感謝デー	サン・ファンパーク	サン・ファン館	☎ 0225-24-2210
	29日(火)	にっこり歳の市	にっこりサンパーク駐車場	北上総合支所産業建設課	☎ 0225-87-2114
	下旬	マリンバル女川シーバルII 大感謝祭	マリンバル女川シーバルII	マリンバル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	下旬	女川町水産まつり	女川町魚市場	水産まつり実行委員会(女川町役場水産農林課)	☎ 0225-54-3131

県道2号「石巻・鮎川線」、新小積トンネルから御番所山まで

牡鹿半島の突端に位置する御番所山まで、
歴史の道と交錯する現代の道をゆく。



【鮎川港】牡鹿半島の突端に位置する鮎川港は、世界有数の捕鯨基地として栄えた。



金華山黄金山神社への参拝道だった金華山道のルートと
重なるように整備された県道2号石巻・鮎川線は沿道の生活道路として、
また牡鹿半島の観光道路として多くの人々が利用してきました。
1971年に開通したコバルトライン(県道220号牡鹿半島公園線)とともに、
今も牡鹿半島の産業、経済、生活を支える重要な道路です。



【新小積トンネル】小積浜から小網倉浜に至る小積峠をショートカットするためにつくられた新小積トンネルは、1988年3月に完成した。延長470mのトンネルによって、それまで細く曲がりくねった山道を通ることなく、旧石巻市と旧牡鹿町をスムーズに往来できるようになった。

旧石巻市と旧牡鹿町の境界は、細く険しい道が続く小積峠にありました。現在は新小積トンネルが貫通し、ひと走りですぐ旧牡鹿町内へ入ることができます。最初の集落となる小網倉浜を通過し、道は海岸線と並行しながら給分浜へと至ります。ほどなく徒歩で黄金山神社への参拝をしていた頃の金華山道と県道との分岐点を示した標柱が、ひっそりと路傍にたたずんでいます。金華山道は、石巻市大街道から牡鹿半島突端の山鳥を結んでいました。「徒歩でここまでやって来るのは、相当遠く感じただろうなあ」という感慨を胸に、鮎川をめざし進みます。

給分浜からひとまず県道を離れ、小浜浜へと向かうと、宮城県農業公社牡鹿牧場(旧北里大学総合実習所)の敷地内へと至ります。小さな岬のほとんどが牛の放牧場となっており、岬の突端には網地島と太平洋の大海原



【金華山道 給分村入口】石巻大街道を始点とし、牡鹿半島の突端の山鳥に至る黄金山神社への参拝道を金華(花)山道と呼んだ。石巻市では古道の記憶を後世へと伝えるため、かつての街道筋に「歴史の道」と記した標柱を建てている。この標柱は給分浜と県道との分岐点に建てられている。



【宮城県農業公社牡鹿牧場(旧北里大学牡鹿総合実習所)】敷地内からは、海原を見下ろす緑の牧草地帯に放牧された牛と網地島を望むことができる。

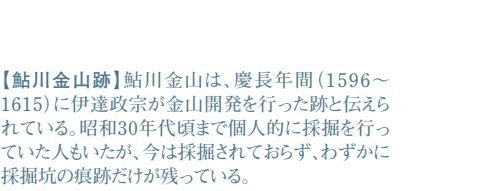
が広がります。

ふたたび県道に戻りほどなくして、鳴き砂と美しい松林で知られる十八成浜へと到達します。そして、鮎川のまちに入る手前で再び道を逸れ、清崎方面へと向かうと、そこには牡鹿清崎運動公園、牡鹿病院、牡鹿交流センター「ほっとまる」の施設群があります。中でも牡鹿交流センター「ほっとまる」には、図書館や温水プール、トレーニングジム、入浴施設などが完備され、一般利用も可能です。ここから眺める網地島と太平洋の大パノラマは、ドライブの疲れを癒してくれる格好の場所となっており、無料休憩施設も完備されているので、ぜひ一度お立ち寄りを。

しばしば寄道しながらの県道2号石巻・鮎川線の旅も、鮎川のまちに入りクライマックスを迎えます。鮎川で県道は終点ですが、最後の締めくくりとして御番所公園まで足を延ばしま



【**牡鹿交流センター「ほっとまる」**】図書館、温水プール、トレーニングジムなどを有する施設のほっとまるから見る半島のパノラマはまさに絶景。休憩施設も完備されているので、気軽に立ち寄ってドライブの疲れを癒すことができる。



【鮎川金山跡】鮎川金山は、慶長年間（1596～1615）に伊達政宗が金山開発を行った跡と伝えられている。昭和30年代頃まで個人的に採掘を行っていた人もいたが、今は採掘されておらず、わずかに採掘坑の痕跡だけが残っている。



す。牡鹿半島の突端に位置する御番所山は、江戸時代に外国船の侵入を監視するための御番所（見張り場）が設置されたところで、太平洋の外洋をはじめ仙台湾、さらには石巻方面まで見通すことができる眺望を誇ります。

遠きにしえ人が徒歩で歩いてきたであろう
その道程に想いを馳せつつ牡鹿半島の全景
を遠望すると、自然の雄大さもさることながら、
苦労も厭わない人々の信仰心の篤さに胸が
熱くなる金華山道の旅でした。

【鮎川港観光棧橋】おしかホエールランド前の棧橋から、金華山や網地島への定期船や高速船が就航している。鮎川ー金華山間は定期船でおよそ30分、高速船で20分ほど。



【御番所公園】仙台藩が「唐船」と呼ばれていた外国船の襲来に備えて見張り所を置いていた御番所山（標高188m）の頂にある公園で、ほぼ全方位に視界が開けている。園内には、展望棟をはじめ子どものためのアスレチック施設、野鳥観測所などがあり、牡鹿半島の雄大な自然を満喫することができる。



◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会 場	主 催	問い合わせ
1	9日(土)～10日(日)	マリンパル女川シーパルⅡ たら祭り	マリンパル女川シーパルⅡ	マリンパル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	24日(日)	女川のまつり 冬のまつり	マリンパル女川お祭り広場	女川のまつり実行委員会	☎ 0225-53-4033
	24日(日)	おめつき	雄勝名振地区	雄勝公民館	☎ 0225-57-3052
2	13日(土)～14日(日)	マリンパル女川シーパルⅡ あんこう祭り	マリンパル女川シーパルⅡ	マリンパル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
3	13日(土)～14日(日)	マリンパル女川シーパルⅡ かに祭り	マリンパル女川シーパルⅡ	マリンパル女川事業協同組合	☎ 0225-54-4714
	21日(日)	サン・ファン感謝デー	サン・ファンパーク	サン・ファン館	☎ 0225-24-2210
	下旬	和渚互市	和渚神社前商店街	河南桃生商工会	☎ 0225-72-3586

県道220号牡鹿半島公園線を経由して、女川原子力PRセンターまで

牡鹿半島の山沿いを走りながら、コバルトブルーに輝く女川湾の遠望を楽しむ。



【飯子浜集落と県道41号】県道41号は曲がりくねった山道が多いが、五部浦湾付近は見晴らしのよい海沿いの道となる。



牡鹿半島のほぼ中央を貫くように走る牡鹿コバルトライン。太平洋の大海原を遙か遠くに見ながら山腹の曲がりくねった道を行くと、まばゆい空と海の蒼さに身も心も包み込まれてしまうかのよう。柔らかな日差しを浴びて、車窓を過ぎる自然の景色を楽しむことができる。これらの季節にもってこいのドライブコースです。



【鷲神公園】女川町で有数の広さを誇る公園で、女川の市街地が一望できる。園内には、戦没者慰霊碑や東屋などがあり、春には満開の桜のもと花見を楽しむ人々で賑わう。

県道220号牡鹿半島公園線は、通称「牡鹿コバルトライン」として牡鹿半島のほぼ中央を貫きながら女川町浦宿と石巻市鮎川を結んでいます。牡鹿コバルトラインは1971年4月に有料道路として開通し、1996年4月から無料開放となりました。

国道398号女川バイパスから牡鹿コバルトラインへと入り、かつての料金所付近の山側に鷲神公園の入口が見えてきます。女川港とまちの中心街を見下ろす絶好のロケーションにある鷲神公園には、若木ながら多くの桜の木が植えられており、春になると満開の桜の下で花見を楽しむ町民で賑わいます。鷲神公園を後にして鮎川方面へ向かうと、大六天山の麓にある大六天駐車場へと至り



【大六天駐車場】女川湾から金華山まで雄大な太平洋のパノラマが楽しめる展望駐車場。地元漁師の信仰の山でもある大六天山（標高440m）の山頂には三国神社が祀られており、駐車場向かいの登山口から登ることができる。

【飯子浜の板碑群】飯子浜の久須師神社境内にある高さ2.7mの石碑は、室町時代（1395年）に建てられた町内で一番大きい板碑と言われている。他にも、境内には数基の板碑があり、鎌倉時代～室町時代のもと考えられている。



【小屋取】小屋取は女川原子力発電所に隣接し、漁港や小さいながらも美しい海水浴場がある。沖合方面には地元漁師の信仰の島として知られる山王島を眺めることができる。

ます。駐車場からは、対岸の竹浦をはじめ、出島、江島、金華山などの島々と女川湾の大パノラマを堪能することができます。また、駐車場の向かい側には、標高440mの大六天山の登山口があり、ハイキング気分で登山を楽しむこともできます。

大六天山駐車場から再び牡鹿コバルトラインを南へ曲がりくねった峠道を2km程進み、コバルトラインに別れをつけ、野々浜に向かいます。野々浜からの道は、県道41号女川・牡鹿線となり、五部浦湾を見ながら飯子浜へと至ります。飯子浜の久須師神社境内には町内で一番に大きいとされる板碑を見ることができます。県道41号を離れ小屋取漁港への一本道へと入ります。途中には鳴り砂

の砂浜が美しい夏浜海水浴場や聖徳太子像を祀っている塚浜の太子堂などの見どころがあります。さらに進むと小屋取漁港に到着し、道は行き止まりとなります。小屋取の漁港からは女川原子力発電所や山王島など、普段ではお目にかかれない景色を間近に楽しむことができます。

再び県道41号に戻り、鮎川方面へと向かうと最終の目的地である女川原子力PRセンターへと到着。センター内の展示施設で原子力発電所の仕組みについて勉強するもよし、外に出て女川原子力発電所を眺めながらスイートガーデンを散策するもよし。春に向けて、海を渡る風がやわらかさを増すこれらの季節におすすめのドライブコースです。

【塚浜の太子堂】堂内には、聖徳太子像と子安観音像などが祀られている。太子像は、この地方を戦乱から守った白幡大納言の守り本尊として塚浜手長崎内の岩松庵に安置されていたが、庵が廃寺となったことから現在地に移されたという。



【女川原子力PRセンター】原子力発電の仕組みなどを紹介する目的で設置された女川原子力PRセンター。社会学の学生や観光客などが多く訪れている。

◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会場	問い合わせ
4	10日(土)～11日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ 大創業祭(しらす祭り)	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714
	上旬	北上川ヨシ原火入れ	北上川河川敷※1	北上総合支所産業建設課 ☎ 0225-67-2114
	15日(木)	マリンバル女川周年祭	マリンバル女川	マリンバル女川 ☎ 0225-54-4711
	中旬～下旬	日和山公園観桜期間(ライトアップ)	日和山公園	石巻市観光課 ☎ 0225-95-1111
	中旬	河南鹿嶋ばやし山車祭り	広瀬地区	河南総合支所産業建設課 ☎ 0225-72-2114
	下旬	朝日山計仙麻神社神輿渡御	旭山公園内(北村字朝日山)	河南総合支所産業建設課 ☎ 0225-72-2114
5	下旬	女川のまつり 春のまつり(ギンザケ)	マリンバル女川お祭り広場	女川町商工観光課 ☎ 0225-53-4033
	3日(月・祝)～5日(水・祝)	南三陸潮騒まつり	神割崎イベント広場	北上総合支所産業建設課 ☎ 0225-67-2114
	8日(土)、9日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ ほや祭り	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714
	中旬	日和山つつじ鑑賞「野点(のだて)」	日和山公園	表千家石巻教授者会 ☎ 0225-95-1111
	7日(金)～13日(木)※2	金華山初巳大祭	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社 ☎ 0225-45-2301
	下旬	ザン・ファン祭り	ザン・ファンパーク／ザン・ファン館	ザン・ファン館 ☎ 0225-24-2210
6	12日(土)、13日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ ぎんざけ・かつお祭り	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714
	下旬～7月上旬	牧山あやめ祭り(夏越の大祓い)	牧山零羊崎神社	牧山零羊崎神社 ☎ 0225-22-4788

※1 石巻市北上町橋浦字上大須地先 ※2 初日から7日間

島を一周する生活道を散策する

愛くるしい猫のしぐさに癒されながら、
ゆったりと流れる島の時間を楽しむ。



田代島の西側には仙台湾を一望できるポイントがいくつかあり、大海の絶景を堪能しながら島を巡ることができる。



周囲およそ11km、人口97人(2010年3月末時点)の田代島は、近年、全国でも珍しい猫を祭神とした「猫神社」などで猫の島として一躍有名となり、多くの観光客が訪れるようになりました。島内には、大泊と仁斗田を結ぶ道と、島の西側を巡る細い生活道があり、マリンレジャーや自然観察、歴史探訪など、思い思いに散策を楽しむことができます。



【大泊港】大泊には、慶長遣欧使節船サンファン・パウティスタ号が、航海の前に水を補給する際に船に係留したと伝えられる石柱が残っている。



【マンガアイランド】田代島にある野外活動施設。隣接する網地島を一望できる高台に位置し、キャンプサイトや著名な漫画家がデザインしたログジなどがある。



【三石崎】荒波に突き出た3つの巨岩があったことから、その名が付けられた三石崎。三石観音や昭和30年代後半まで大謀網番屋の飲料水として使用されていた「薬効の井戸」などがある。

石巻港から網地島ラインの定期船に乗り込み、およそ40分で最初の寄港地である「大泊港」に到着。訪れた日は、週末とあって20人ほどの観光客が次々に下船します。船から降り立った人々は、足早に島の内部へと歩みを進めます。

作家の井上ひさし氏が「ひょっこりひょうたん島」の原作モデルにしたと言われる田代島は、古くから漁業で栄えてきました。大漁をまねく縁起のよい生き物として、島の人々は猫を大切にしてきたため今も多くの猫がいます。それが近年、巷で話題となり「猫の島」と

して愛猫家が訪れるようになりました。

大泊港で降り立った一行は、島のほぼ中央に位置する猫神社の前で記念写真を撮ったり、祠に手を合わせたりしています。やはり、島を訪れた人の多くは、猫が目当てだったようです。道ばたでまどろむ猫に歓声をあげながら、カメラを向ける若い女性たち。猫もそこは慣れたもので、その場を動かこうとしません。島の観光大使とでも形容したくなるような風格と威厳さえ感じられます。

仁斗田港からマンガアイランドを経由して、島の西側へと向かうと、一面枯れ草に覆われた広い野原へと出ます。ここは、かつて稲作をしていた田んぼ跡で、昭和50年に国土交通省が撮影した田代島の航空写真には見事な棚田の様子を見ることができますが、

今は耕作する人もなく背の高い草が生い茂っていました。

稲田跡からさらに西へ進み、道は稲田跡から島の輪郭をトレースするように北へと方向を変えます。大謀網の番屋跡を通り過ぎ、海を一望する東屋までやってきたところで一休み。「そういえば、大泊から仁斗田まで、しばしば見かけた猫と一匹も出会わなかったなあ」。島の西側を巡る道は、舗装こそされているものの自動車一台が通れるほどの狭い道で、人家は一軒もなく誰一人すれ違う人もいません。島の西側は、かつて大謀網の漁場として大いに賑わった時期もありましたが、その栄華も今は昔。わずかに残る遺構とその歴史を記した看板のみでしか、往時の面影をうかがい知ることはできませんでした。



【猫神社】田代島では、猫は古くから「大漁をまねく」として大切にしてきた。あるとき、いかりを作るための砕石片が猫に当たり、亡くなる事故が起こった。島人は、猫の安全と大漁を祈願して猫を祭神とした祠をたてたという。



【稲田跡】かつて島の中央部から南端にかけて稲作が行われており、この辺りには、美しい棚田の風景が広がっていた。



【大謀網の番屋跡】大謀網の番屋は、16世紀末から近くの漁場で働く漁師の宿舎として発達。昭和27年の漁業改正法施行で漁業協同組合の経営に移行するまで続き宮城県有数の漁場として、近隣から労働者などが集まり賑わった。



【大六天(だいろくてん)神社】田代島最古の神社で、康平(こうへい)年間[1058～1065]に奉られたとされている。大謀網で働く漁師たちの守護神でもあった。

◆ イベント情報

	開催日	イベント名	会場	問い合わせ
7	4日(日)	おがつ産業まつり「東部支所・海鮮市(ウニまつり)」	雄勝シーサイドふれあい広場	雄勝総合支所産業建設課 ☎ 0225-57-3671
	10日(土)～11日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ うに祭り	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714
	24日(土)～25日(日)	金華山龍神まつり 奉納 龍(蛇)踊り	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社 ☎ 0225-45-2301
	24日(土)～25日(日)	女川みなと祭り	女川海岸お祭り広場	女川町商工観光課 ☎ 0225-53-4033
	25日(日)	マンガ灯ろう祭り	中瀬公園	街づくりまなぼう ☎ 0225-23-2109
8	29日(木)	「につぼん丸」寄港記念イベント	石巻港	石巻港大型客船誘致協議会 ☎ 0225-95-1111
	1日(日)～2日(月)	石巻川開き祭り	市内中心部、旧北上川下流	実行委員会 ☎ 0225-22-0145
	8日(日)	牡鹿鯨まつり	鮎川浜、鮎川港周辺	実行委員会 ☎ 0225-45-3456
	上旬	サマーフェスタ・イン・かほく	メディアシップ他	実行委員会 ☎ 0225-62-3161
	14日(土)～15日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ 夏祭り	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714
9	中旬	にっこりタ市	北上総合支所駐車場	北上総合支所産業建設課 ☎ 0225-67-2114
	11日(土)	ものうふれあい祭りはねこ踊りフェスティバルinものう	桃生植立山公園	実行委員会 ☎ 0225-76-3315
	11日(土)～12日(日)	マリンバル女川シーバルⅡ さんま祭り	マリンバル女川シーバルⅡ	マリンバル女川事業協同組合 ☎ 0225-54-4714
	19日(日)	サンマの祭典「おながわ秋刀魚収穫祭2010」	女川魚市場敷地内	実行委員会 ☎ 0225-53-4455
	25日(土)	金華山黄金山神社例大祭	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社 ☎ 0225-45-2301

四季折々、石巻地方を舞台に繰り広げられる
可憐な草花たちの美の饗宴

花の形状がユニークで美しい
ヤマジノホトギス

鮮やかな花の色が印象的な
フシグロセンノウ

南三陸に短い夏がやってくると、ヤマユリ、ツルフジバカマ、シナガワハギなど、たくさんの山野草が花の美しさを競うように一斉に咲き誇ります。中でも、ユリ科に属するヤマジノホトギスは水平に広がる直径数センチの花弁から、雄しべと雌しべを大きく上部に突き出し四方に広げた、ピエロハットのようなユニークな形状をしています。

鬱蒼と生い茂った森の中を歩いていると、木々の合間から差し込む小さな木漏れ日にひときわ鮮やかなオレンジ色の花「フシグ

ロセンノウ」を見つけることができます。ナデシコ科のフシグロセンノウは、細くスラリと真っ直ぐに伸びた茎の節が紫黒色をしていることから節黒と名付けられたとか。その繊細な風情が日本人に馴染みやすいのかどうかは定かではありませんが、全国的に人気ある山野草の一つです。

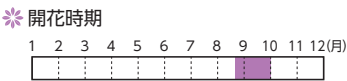
今回、ご紹介した2種類の山野草に限らず、南三陸、とりわけ牡鹿半島周辺は、山野草の宝庫です。お出かけの際、足下の草花に目を向けてみてはいかがでしょうか？



ヤマジノホトギス[山路の杜鹃草]
ユリ目／ユリ科／ホトギス属

ホトギス属は東アジアに19種、うち10種は日本固有種と考えられている。ヤマジノホトギスは日本原産の固有種で、北海道から九州まで広く分布する多年草。

石巻地方では8月下旬から開花し始め9月末頃まで楽しめる。牡鹿半島の県道脇の日陰で水分が保たれている所に数多く確認できている。

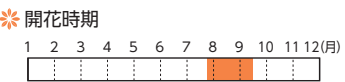


お願い 石巻地域においては、山野草を根こそぎ持ち帰る例が相次いでおり、希少植物保護の観点から生息地等の情報は控えさせていただいております。自然の山野草は、切り花にしたり、苗を持ち帰ったりせず、あるがままの姿で楽しむようお願いいたします。貴重な自然資源をみんなで大切に守っていきましょう。



フシグロセンノウ[節黒仙翁]
ナデシコ目／ナデシコ科／センノウ属

湿润な深山に自生する多年草。東北中部～九州南部まで自生し、7月下旬～9月中旬頃まで花を見ることができる。センノウの名の由来については室町時代の辞書的一种である「下学集」に「仙翁花。嵯峨仙翁寺、初めて比の花を出す、故に仙翁花と云う。」という記載がある。



イベント情報

開催日	イベント名	会場	問い合わせ	電話番号
2日㊥～3日㊥	東北4大焼きそばフェスティバルinいしのまき	中瀬公園	石巻市商工観光課	0225-95-1111
3日㊥、10日㊥	金華山黄金山神社 神鹿角切り行事祭	金華山黄金山神社	金華山黄金山神社	0225-45-2301
10 上旬	石巻専修大学石鳳祭	石巻専修大学	実行委員会(石巻専修大学)	0225-22-7429
9日㊥～10日㊥	マリンパール女川シーパルII ほたて祭り	マリンパール女川シーパルII	マリンパール女川事業協同組合	0225-54-4714
10日㊥	おがほくホタテまつり	雄勝シーサイドふれあい広場	県漁協雄勝町雄勝湾支所	0225-57-2211
17日㊥	いしのまき大漁まつり	石巻魚市場	実行委員会(水産課)	0225-95-1111
24日㊥	股旅演芸東北大会	桃生総合センター	河南桃生商工会(桃生支所)	0225-76-3315
下旬	硯のふるさと東北書画展	雄勝硯伝統産業会館	雄勝硯伝統産業会館	0225-57-3211
下旬	かほく産業まつり	河北総合センター 他	実行委員会(河北総合支所地域振興課)	0225-62-2114
3日㊥	マンガッタン文化祭	石ノ森萬画館、中瀬公園	石ノ森萬画館	0225-96-5055
6日㊥	かなん市民まつり	遊楽館および周辺地区	実行委員会(河南総合支所地域振興課)	0225-72-2114
11 13日㊥～14日㊥	マリンパール女川シーパルII かき祭り	マリンパール女川シーパルII	マリンパール女川事業協同組合	0225-54-4714
23日㊥	石巻かき祭り	サン・ファンパーク	石巻かきブランド化事業委員会(県漁協石巻地区支所)	0225-24-0391
下旬	和瀬互市	和瀬神社前商店街	河南桃生商工会(本所)	0225-72-3586
上旬	にっこり写真セミナー	北上地区	北上総合支所地域振興課	0225-67-2114
12 26日㊥	女川町水産まつり	女川魚市場	女川町水産まつり実行委員会	0225-54-3131
下旬	マリンパール女川シーパルII 大感謝祭	マリンパール女川シーパルII	マリンパール女川事業協同組合	0225-54-4714

ここがおすすめ
牡鹿交流センター「ほっとまる」



山野草を楽しみたい方へお勧めのスポットが、牡鹿交流センター「ほっとまる」。同センターには、無料休憩設備をはじめ、お風呂・サウナ、温水プールなどが完備されています。また、周辺は自然散策路になっており、海岸の東屋まで伸びる6つのルートで山野草観察を楽しむことができます。同施設には、当シリーズに山野草の写真と情報のご提供をいただいている写真家、佐藤稔克さんの写真がスライドビューアーで上映されています。

山野草にご興味を持たれた方は、ぜひ同センターを拠点に牡鹿半島の自然散策を楽しんでください。



佐藤 稔克さんの山野草写真を上映するスライドビューアー

石巻市牡鹿交流センター
〒986-2523 石巻市鮎川浜清崎山7番地
TEL 0225-45-3618(代)



佐藤 稔克氏 Toshikatsu Sato

ネイチャー・フォトグラファー。
1955年北海道生まれ。2007年仕事の関係で女川町に移住。仕事の傍ら、豊かな牡鹿半島の自然に魅せられ山野草を中心に撮影を続けている。その数は20万カット、600種類を超える。



四季折々、石巻地方を舞台に繰り広げられる
可憐な草花たちの美の饗宴

写真：佐藤 稔克 氏



春の訪れを告げてくれる
フクジュソウ

春を代表する花
タンポポ

踊り子のような可憐な花が魅力の
オドリコソウ

すべての生き物たちが活動を停止しているかのように、ひっそりと静まりかえった冬の森。でも、よく目を凝らして見ると、そこには春に向かって着実に歩んでいる植物たちの息吹を感じることができます。

冬から春にかけて、最も早くに目にすることができるのがフクジュソウです。「永久の幸福」とか「幸福を招く」という花言葉をもつフクジュソウは、無彩色だった冬景色の中に突如として現れる鮮やかな黄色の花によって春の到来を伝えてくれます。

それ故、春を待ちわびた人々に親しまれているのでしょう。

黄色い花といえば、タンポポも春を代表するお馴染みの花の一つ。フクジュソウより花期は遅く、暖かな日差しが降り注ぐ頃、人里近くの野原でよく見かけることができます。タンポポは大きく在来種と外来種に分けられ、外来種のセイヨウタンポポは背丈が高く繁殖力も旺盛なことから、至るところで見かけます。一方、在来種のエゾタンポポやキビシロタンポポ・オクウスギタンポポなどは繁殖力が弱く、背丈も低いので外来種よりも目立ちません。

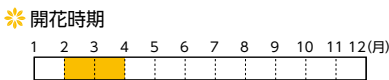
やがて本格的な春の到来に、さまざまな植物が一斉に美しい花々が咲き競い合う頃、道ばたのちょっとした空き地に、オドリコソウがひっそりと花を咲かせます。こうした、気をつけていないといつ見逃してしまいそうな小さな草花たちにも、ぜひ目を向けてほしいものです。

フクジュソウ [福寿草]

キンボウゲ目／キンボウゲ科／フクジュソウ属



ほぼ日本全国の山林で広く生育しており、3～4 cm ほどの黄色い花を咲かせる。花期は生育場所や周囲の環境により異なるが、一般に2～4月頃とされ、最も早い開花が旧暦の新春時期でもあったことから、初春を祝うめでたい花として名付けられたとされている。また、元日草（ガンジツソウ）や朔日草（ツイタチソウ）という別名でも呼ばれている。



エゾタンポポ

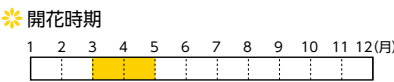


キビシロタンポポ

タンポポ [蒲公英]

キク目／キク科／タンポポ属

女川周辺で見られる主なタンポポは、在来種のエゾタンポポ・キビシロタンポポ、外来種のセイヨウタンポポの3種。稀にカントウタンポポも確認することができる。花期は3～5月頃だが、セイヨウタンポポは女川周辺ではほぼ一年中咲いている。エゾタンポポとセイヨウタンポポが大半を占め、白い花のキビシロタンポポは生育数が少ないため観察しにくいかもしれない。



セイヨウタンポポ

オドリコソウ [踊子草]

シソ目／シソ科／オドリコソウ属

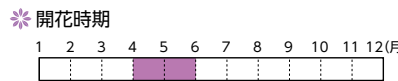
30～50cmほどの茎から伸びる葉の付け根部分に、薄紫色の花が放射状に広がる。「踊子草」とは、花の形が傘をかぶった踊り子の舞姿に似ていることに由来する。花期は4～6月頃で、半日陰になるような人里近くの草地などに群生する。近縁種にヨーロッパ原産帰化植物のヒメオドリコソウ [姫踊子草] がある。右下段の写真は、ヒメオドリコソウの突然変異と考えられているシロバナヒメオドリコソウ。



ヒメオドリコソウ



シロバナヒメオドリコソウ



イベント情報

開催月日	イベント名	会場	問い合わせ	電話番号
8日㊥～9日㊥	マリンバル女川シーパルⅡ たら祭り	マリンバル女川シーパルⅡ	マリンバル女川事業協同組合	0225-54-4714
1月 24日㊥	おめつき	雄勝名振地区	雄勝公民館	0225-57-3052
30日㊥	女川のまつり 冬のまつり	マリンバル女川お祭り広場	女川のまつり実行委員会(事務局:女川町商工観光課)	0225-53-4033
2月 12日㊥～13日㊥	マリンバル女川シーパルⅡ あんこう祭り	マリンバル女川シーパルⅡ	マリンバル女川事業協同組合	0225-54-4714
3月 12日㊥～13日㊥	マリンバル女川シーパルⅡ かに祭り	マリンバル女川シーパルⅡ	マリンバル女川事業協同組合	0225-54-4714

ここがおすすめ

しょうぼん さん

上品山周辺



しょうぼん さん

石巻市の北部(河北地区)に位置する上品山(標高467m)の山頂付近は牧場となっており、航空レーダーなどの設備もあります。よく晴れた日には、眼下に飯野川橋付近で大きく蛇行する北上川の雄大な流れをはじめ、仙台湾や牡鹿半島まで見渡すことができます。車では、山頂へ至る舗装された一本道しかありませんが、徒歩であれば「石巻緑のハイキングロード」や林道などがあるので、山野草観察にはこちらがお勧め。ただし、ハイキングロードの途中にある河北上品牧場に入る際は許可が必要です。家畜への伝染病被害を防ぐため放牧場への立ち入りが制限されている場合もあるので、入山するときは注意が必要です。



佐藤 稔克 氏 Toshikatsu Sato

ネイチャー・フォトグラファー。1955年北海道生まれ。2004年仕事の関係で女川町に移住。仕事の傍ら、豊かな牡鹿半島の自然に魅せられ山野草を中心に撮影を続けている。その数は20万カット、600種類を超える。



お願い

石巻地域においては、山野草を根こそぎ持ち帰る例が相次いでおり、希少植物保護の観点から生息地等の情報は控えさせていただいております。自然の山野草は、切り花にしたり、苗を持ち帰ったりせず、あるがままの姿で楽しむようお願いいたします。貴重な自然資源をみんなで大切に守っていきましょう。